

## 平成29年度町政懇話会 議事概要

日 時：平成29年10月3日（火）  
19時00分～20時30分  
場 所：そうわ会館

出席者：間宮町長、井上副町長、夏苺教育長、米山生活環境課長、石田地域振興課長、水上地域振興課副課長、植松生活環境課副主幹

事務局：湯川町民課長、清水副課長、皆木副主幹、小笹主任主事

参加者数：40人

### 1 開会

町民課長より開会のあいさつ

### 2 町長あいさつ

間宮町長よりあいさつ

### 3 出席者紹介

出席者よりあいさつ

### 4 テーマ別説明

(1) 相和地域活性化について 地域振興課長より説明

(2) (仮称)大井中央公園整備について 生活環境課長より説明

### 【質疑・応答】

- 交流体験推進事業の平成31年度に現状+10,000人受入とあるが、現状の人数はどのくらいか？  
→ 年度により差異はあるが、ゆめおおい体験塾で受け入れている人数が約2,000人で、その数+10,000人を目標にしている。
- 観光バス（団体）や自家用車で来るならわかるが、電車で来る人はどうするのか？新松田駅からの手段を確保しないと難しいのではないか？  
→ NPO自然体験学校の取組みを参考にしており、まずは学校や会社などの団体を受け入れることを中心に行っている。営業活動も学校や会社の福利厚生事業として、呼び込みたいと考えている。少人数の受け入れだと逆に負担になってしまう可能性もあるので、団体を対象に想定している。
- 交流体験事業のメリットは分かった。デメリットは何？現在、田んぼ体験を受け入れている団体は大変ではないのか？受け入れ団体はどのように思っているのか？日帰りだとどうか、民泊だとどうか、採算が取れるかなど試算しているのか？また、資格取得者が何人かいないと受け入れできないのか？

→ 田んぼ体験については、これ以上受け入れできないとは聞いていないが、面積を増やすのは難しいと思う。交流体験事業は、農業体験だけではない。様々な体験事業のメニューを考え、多くの方にかかわってもらい、収入を増やしてもらいたい。また、収入がプラスになるようにメニューによって料金設定していく。資格取得にかかる費用は、国の補助金等を活用していくが、1～2万円は自己負担してもらおう。また、法的に資格取得者がいないと実施できないという規定はないが、資格保持者が多くいることによりPRにもなり、参加者が増えるのではないかと考える。資格保持者がいると保険の適用にもなる。

○ 人集めには効果があると思うが、相和地区の人口減少などの歯止めになるのか？これまでの活性化事業で効果が出てきているのか？平成31年以降の相和地区の現状が是正できる見込みなのか？

→ これまで違った形でいろいろ事業展開してきた。例えば、農産物を活用した事業や四季の里を活用したイベント事業などを行ってきた。まつりなどの来場者は増加しているが、経済効果や定住効果につながっているかは難しい問題ではあり、効果が出ていないと思う。交流体験推進事業は、今後発展することにより（民泊など）、収入が増加し、確保できると思われる。生活の安定が図られる。この交流体験事業を体験してもらい、相和地区に住んでみたいと思ってもらえるようにしたい。人口増加に期待している。

○ 相和地区に住んでもらうような施策を展開してほしい。例えば住宅の問題。調整区域だから家が建たないなど、家が建てられるようにしていくよう検討すれば移住定住するのではないのか？

→ 近年、相和地区に住みたいという方は増えてきている。しかし、相和地区は調整区域という縛りがあり、宅地開発ができない状況である。また、既存宅地を移住定住者に使うとなれば、制約がある。次三男分家で家を建てられた方が、第三者に譲渡することは難しい。以上のことから現状では大変難しい。相和地区の課題になっている。

○ （仮称）中央公園の開園・閉園時間など決めてしまうのか？井戸は手動式のポンプなどにするのか？犯罪が多くなっているのでは、防犯カメラの設置は？

→ 基本的に公園を締め切ることはしない。歩行者などは、通行できるようになっている。井戸は電動式予定だが、有事の際は手動になると思う。ただ、担当としては、昔ながらの井戸で子ども達が遊べる・経験できるようにしたい。防犯カメラについては、現状では計画はないが、今後必要性が増えれば検討する。

○ 篠窪の橋が開通すると思うが、山田の道路で事故が起きないような計画はあるのか？

→ 地元では懸念している旨、担当課に伝える。

## 5 閉会

井上副町長より閉会のあいさつ